

科目名	ピアノ伴奏法Ⅱ	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	榊原 祐子	単位	1	年次	3

＝授業科目の目標＝

音楽を職業とする演奏家や教師にとって、伴奏は重要な技能です。
この授業では、伴奏に関する知識やノウハウを学んで基礎力を高め、実習で即実践してスキルアップ、受講生が自主的に探求していく力を身につけることを目指します。

＝履修の条件と学習の方法＝

専攻は問わない。

専攻を考慮して、伴奏実習の課題を決めるので、初回ガイダンスには必ず出席のこと。

第2回から12回までの授業は二部構成で、前半はレクチャー、授業後半は伴奏実習・ディスカッションとなる。13回14回は発表演奏会を行う。

キーワードは「職業訓練」。卒業後の音楽活動を見据え、音楽現場で即実践できるように、各々が明確な目的を持ち意欲的に実習に取り組むこと。

＝授業内容＝

1回 ガイダンス:シラバスと留意点の確認、実習計画作成、担当課題曲の選曲

2回 伴奏の役割

実習:学校音楽教科書掲載曲の伴奏・声楽曲の伴奏

3回 ソリストの「持続音」と伴奏ピアノの「減衰音」

実習:管楽器の伴奏

4回 伴奏ピアノの「ペダル」

実習:弦楽器の伴奏

5回 共演者と共有する拍子感、拍感、テンポ感

実習:声楽の伴奏

6回 拍感・拍子感のトレーニング法

実習:8ビートの伴奏

7回 歌詞と和声進行の整合性①

実習:合唱曲の伴奏

8回 歌詞と和声進行の整合性②

実習:バロック作品の伴奏

9回 時代背景・様式観

実習:オペラアリアの伴奏

10回 バランスとピアノの蓋の開閉

実習:合唱曲の伴奏

11回 リハーサルを効率よく進めるポイント①

～バス音を含むアルペジオのおさめ方、テンポ変化への対応～

実習:器楽・声楽の伴奏

12回 リハーサルを効率よく進めるポイント②

～調和、コミュニケーション～

実習:器楽・声楽の伴奏

13回 発表演奏会①と課題の確認

14回 発表演奏会②と課題の確認

15回 総まとめ:個人練習クオリティ向上のためのチェック項目 リスト作成

～合わせる前に、何をどのように準備しておけば良いか～

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況、受講態度、実習準備、ディスカッションタイムでの発言、発表演奏会の内容をもとに、総合的に評価します。

＝その他＝

